

# 愛の南京錠 重い問題

カップルが永遠の愛を誓って南京錠を柵や網に取り付ける。いつの間にか世界中で定着したその「慣習」。お陰で南京錠が鈴なりにぶら下がっている観光地は少なくない。「訪れる人が増えた」と自治体は歓迎する。一方で、「景観を害する」と禁止する動きも。「重い愛」をどうすればいいのか……。



福岡タワーの窓際のフェンスに南京錠を付けるカップル＝2015年12月、福岡市早良区



像にも南京錠が付けられ、宮崎県延岡市は頭を悩ませる＝2013年3月、延岡市、岩下幸広さん提供

## 福岡タワー 盛況で喜びの悲鳴

## 福岡タワー

## 延岡・愛宕山 「もし人形壊れたら」

## 延岡・愛宕山

年間で回収した南京錠は6000個、推定で2千個に達する。町の担当者によると、旅行雑誌の特集で恋愛スポットとして取り上げられることも多い。

「もとは吊いの意味で発生した慣習なのかもしれない。絶対に解けることのない愛の証しとして南京錠を付け、鍵を川に捨てる。『私たちは2人のようにならぬわ！』という思いが感じられます」

玄界灘を望む福岡タワー（福岡市）の展望室。昨年12月半ば、市内の大学2年原田篤さん（20）と有田舞桜さん（20）が訪れ、「ずっと一緒にいれますように」と書いたハート形の南京錠を窓際のフェンスに取り付けた。この日は、ふたりが付き合ひ始めて1年2カ月の記念日。「いい思い出になるといいね」と顔を見合せて笑った。

福岡タワーは2008年、NPO法人・地域活性化支援センター（静岡市）に、プロポーズができるロマンチックな場所「恋人の聖地」と認定された。翌09年、南京錠の販売機とフェンスを設置。当初は年間2千個ほどだったが、昨年は約8千個が付けられた。担当者は「取り付ける場所が足りない」と喜びの悲鳴をあげる。

愛知県美浜町にある野間灯台では、フェンスに南京錠が付けられるようになって20年以上になる。この1

### ■各地の「南京錠スポット」

場所	始まった時期	状況
恋路ヶ浜（愛知県田原市）	2002年	南京錠は不定期で回収し、ハート形のプレートに作り替えて近くで展示
野間灯台（愛知県美浜町）	1990年代前半	回収した南京錠は金属として売り、清掃費などに充てている
名古屋テレビ塔（名古屋市）	2008年ごろ	「恋人の聖地」に認定されて以来、付けられるように。年に一度ペンチで切って外している
札幌もいわ山ロープウェイ（札幌市）	2011年ごろ	山頂展望台にある「幸せの鐘」の手すりに付けられ、場所がなくなれば移し替えることも検討
江の島の「恋人の丘」（神奈川県藤沢市）	1996年	「龍恋の鐘」の脇の柵に付けるカップルが後を絶たないため、管理する市観光協会は、「恋愛成就」の祈願をしてから柵ごと交換
聖通寺山（しょうつうじやま）展望台（香川県宇多津町）	1990年ごろ	敷地内にある結婚式場のチャペルで数年に1度、「奉納式」で南京錠を祭壇に奉納。祭壇内の保管場所は残り少なくなりつつある
亀老山展望台（愛媛県今治市）	2005年ごろ	展望台の転落防止用ワイヤに付けられている。禁止の貼り紙をしたことも。対策を検討中
福岡タワー（福岡市）	2009年	「永遠にロック」をうたった特製南京錠を販売中。たまに回収してプレートに加工し、展示。展示場所はなくなりつつある

宮崎県延岡市の愛宕山。

神話に登場するニギノミコトとコノハナサクヤヒメが出会い結ばれた伝説が残るこの地は08年、互いに手をつなぐ像と南京錠を付けるハート形モニュメントを市が設置して人気となった。しばらくすると、モニュメントによじ登り、結ばれた手など不適切な場所に南京錠を付けるカップルが増え始めた。市は折を見て撤去しているが、手の部分は細いため、市の担当者は「もし人形が壊れたら……」と気をもむ。

フランス・パリのセーヌ川にかかる橋では14年6月、南京錠の重みで欄干の一部が崩落。パリ市は計45本の南京錠を撤去した。ローマのミルビオ橋の街灯も、重みで07年に折れた。

「増え過ぎた南京錠の問題は深刻ですが、ムードを盛り上げるための恋愛スポットをみんなが欲しがっているのも事実。何でも禁止してしまふより、マナーを作った問題解決をして恋愛スポットを盛り上げていきたいですね」

（藤原あゆみ、比留間陽介）